

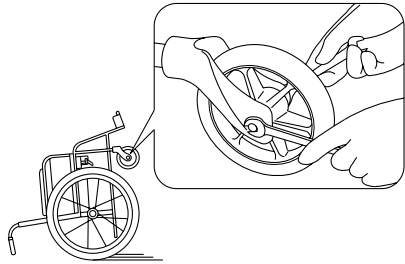
使用上のご注意

保守・点検

乗車前には必ず下記の事項を点検・整備し、常に安全な状態で使用してください。
＊ 修理・調整は必ず販売店へ依頼してください。

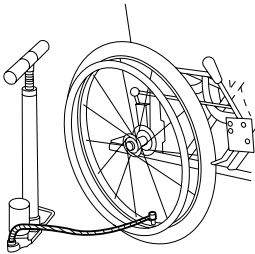
⚠警告

前輪キャスター・駆動輪・ブレーキ等のゆるみを点検し、ゆるんでいるときは増し締めをしてください。





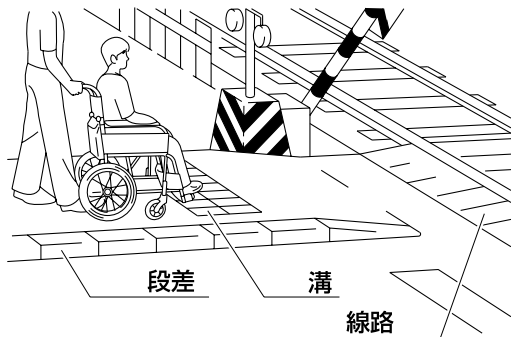
タイヤの空気を自転車と同じ要領で補充してください。長時間使用しなくても空気は抜けていきます。空気が抜けた状態で使用すると、タイヤやチューブを傷め、破損する恐れがあります。（タイヤの空気圧はタイヤ側面に明記されています。）



- ・ブレーキの効き具合が悪いときは、タイヤの空気圧を調整してください。それでもブレーキの効き具合が悪いときは、販売店に調整の依頼をしてください。
- ・パンクのときは、販売店または最寄りの自転車店におたずねください。また、パンクしたまま乗らないでください。
- ・使用者の脚の長さに合わせて、ステップを適切な高さに調節してください。（地上より50mm以上あげてください。）
- ・車いすは熱気、湿気に弱いため、湿気の多い所、外部、自動車内での長期放置や、水のかかる場所には放置しないでください。
- ・ノーパンクタイヤでは、空気圧の調整は必要ありません。

走行上のご注意

- ・車いすは歩行者として扱われています。車道を通らず、必ず歩道を通ってください。
- ・歩道の段差や凹凸のある路面を走行するときは、前のめりにならないよう充分注意してください。
- ・溝や踏切の線路による落輪、前輪キャスターの挟み込みには充分注意してください。
- ・踏切を通過するときは、まわりの安全を確認した上で、停車せずに通過してください。
- ・傾斜地ではスピードが出やすいため、走行には充分注意してください。



車いすの廃棄については、最寄りの行政担当窓口におたずねください。

製造元

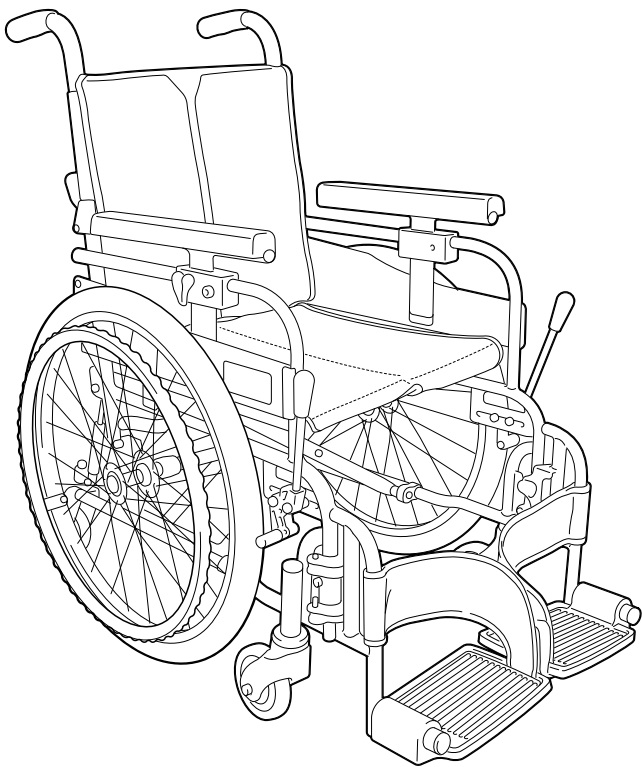


株式会社 ミ キ

〒457-0863 名古屋市南区豊三丁目38番10号

6輪車

取扱説明書



はじめに

この度は、弊社製品をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みになり、十分に理解をした上でお使いください。また、本書はいつでもご覧になれる所に大切に保管しておいてください。

目次

安全上のご注意	2
本製品について	4
おもな機能と特長	5
各部のなまえ	5
使いかた	6
車いすの開きかた/たたみかた	6
乗り降りのしかた	8
段の上がりかた	8
段の下りかた	9
スイングアウトフットレストの開閉・取り外し	9
各部の調節のしかた	10
ステップの高さ調節	10
アームレストパッドの高さ調節	10
背シートの張り具合調節	11
前輪キャスターの上がり高さ調節	11
使用上のご注意	12
保守・点検	12
走行上のご注意	12

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この取扱説明書では、お使いになる人や他の人への危害・物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次の表示と記号を使って説明しています。表示と記号の意味をよく理解したうえで本文をお読みください。

【表示の意味】

	危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが予想される内容を示しています。
	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、重傷を負う可能性が予想される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性および物的障害の発生が想定される内容を示しています。

【記号の意味】

	警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
	禁止の行為であることを告げるものです。
	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

危険

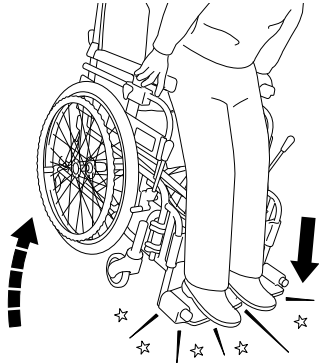
 **スピードを出さないでください。**
スピードが出ているときに急カーブを走行したり、急ブレーキをかけたりすると、転倒して事故やけがにつながる恐れがあります。



-  **急な下り坂で介助するときは、後ろ向きにゆっくり降りてください。**
-  **急な下り坂を自走で降りる場合は、必ず前向きで降りてください。不安な場合は、介助者を伴ってください。**
-  **段差越えをするときは、前輪キャスターを上げ過ぎないでください。重心が後ろに偏り過ぎると、後方へ転倒してけがにつながる恐れがあります。**

警告

 **乗り降りの際にはステップに乗らないでください。**
駆動輪が浮き上がり、転倒する恐れがあります。



 **使用する前に、両側の背折れジョイントが確実にロックされていることを確認してください。**
ロックされていないと、使用者が後方に転倒する恐れがあります。

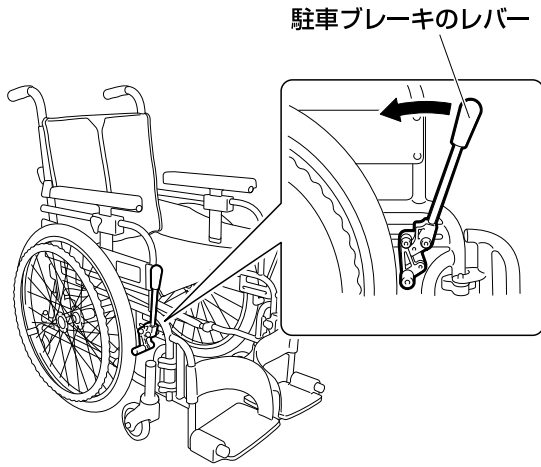
 **使用者を乗せたまま車いすを持ち上げるときは、座シートより下の本体フレームを持ってください。**
背折れジョイントより上を持つと、車いすが破損し、けがをする恐れがあります。

 **アームレストフレームやフットレストを持って車いすを持ち上げないでください。**
アームレストやフットレストのロックが外れ、けがをする恐れがあります。

 **レッグレストを外して使用しないでください。**
足がステップから落ちて前輪キャスターに巻き込まれたり、ステップに当たったりして、けがにつながる恐れがあります。

 **乗り降りの際および停止時には、必ず両輪の駐車ブレーキをかけてください。**
ブレーキがかかっていないと車いすが動きだし、衝突や使用者の転倒事故につながる恐れがあります。ブレーキレバーは、ブレーキレバーが止まる位置まで確実に操作してください。

 **乗り降りの際にはブレーキレバーに体重をかけないでください。**
レバーが破損・変形し、転倒する恐れがあります。



 **車いすを駐車するときは、水平で平坦な場所に駐車してください。**
坂道等の傾斜のある場所では、駐車ブレーキを使用しても車いすが動く場合があり、転倒など事故につながる恐れがあります。

 **各部を調整する場合は平坦な場所で行ってください。**
車いすが動きだし、事故やけがにつながる恐れがあります。

 **【スイングアウトフットレスト装着車の場合】スイングアウトフットレストを開いた状態で走行しないでください。**
事故やけがにつながる恐れがあります。

 **【スイングアウトフットレスト装着車の場合】スイングアウトフットレストを閉じた後は、必ずフックで固定されたことを確認してください。**
事故やけがにつながる恐れがあります。

 **乗り降りの際に、上げたステップに足が当たらないよう注意してください。**
けがをする恐れがあります。

⚠ 注意

- 
 この車いすは一人用です。二人以上の乗車や、目的以外での使用はしないでください。
- 
 フレームに最大体重（積載物も含む）が記載されている場合は、体重制限を守って使用してください。
- 
 車いすをたたむときは、シートパイプを握らないでください。手をはさみ危険です。
 
- 
 使用者が乗車中は、背折れの操作は絶対に行わないでください。背折れのヒンジ部分で手や腕をはさむ恐れがあります。
- 
 走行中、足がフットレストから落ちないようにしてください。
- 
 走行中、足がステップから落ちないようにしてください。
- 
 走行中、身体を乗り出さないでください。走行の安全を損ない危険です。
- 
 操作中に異常な音や振動が発生したら、即時に使用を中止してください。事故やけがにつながる恐れがあります。
- 
 ステッププレートで足を上げる場合は、素足では行わないでください。けがをする恐れがあります。
- 
 ステップの下には足を入れないでください。足を地面でこすったり、ステップや前輪キャスターなどに足をぶつけてけがをする恐れがあります。
- 
 折りたたんだ車いすを開く時に、シートパイプを握って押し下げないでください。手をはさみ危険です。
 
- 
 車いすをたたむときは、アームレストを握らないでください。手をはさみ危険です。
- 
 使用する前に後車輪・キャスター車輪・駐車ブレーキ等のネジを点検し、ゆるんでいるときは増し締めをしてください。
- 
 アームレストパッドの高さを調整した後は、必ずロックされたことを確認してください。
- 
 ステップ下面は地上より50mm以上あげた状態で使用してください。
- 
 暖房器具にタイヤを近づけないでください。タイヤの空気が膨張し、大きな音をたててパンクすることがあります。
 
- 
 段差のあるところを上り下りするときは、車いすに衝撃を与えないように、ゆっくり上り下りしてください。車いすの破損や故障の原因となります。
- 
 車いすを自動車に載せる際および自動車から降ろす際は、車いすに大きな衝撃を与えないよう、ゆっくりと静かに降ろしてください。車いすの破損や故障の原因となります。
- 
 シンナー、ベンジン等の溶剤は、使用しないでください。製品を傷める恐れがあります。

本製品について

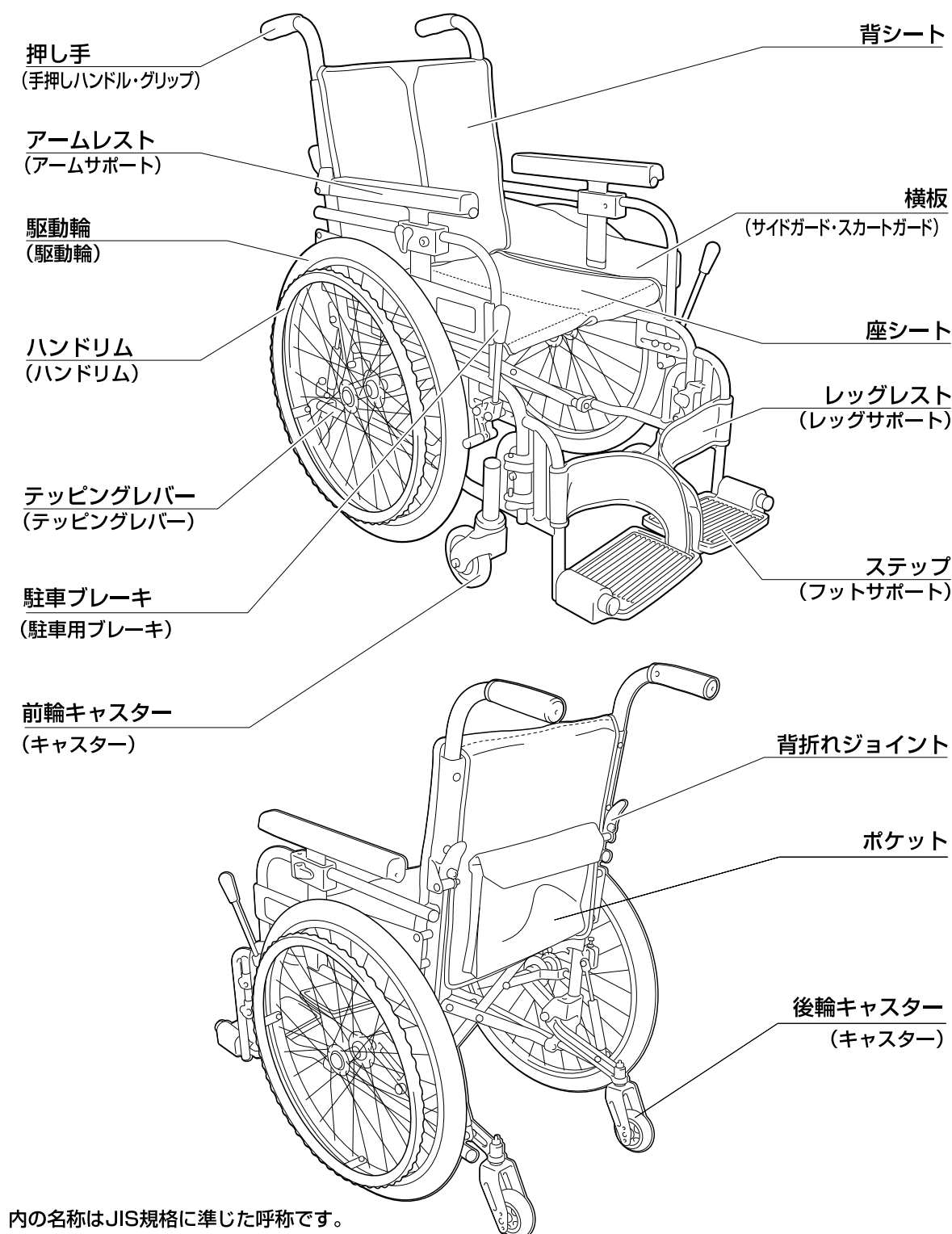
本製品は、標準機能の他に、必要に応じてお選びいただけるオプション機能を用意しております。オプション機能は本製品をご注文時にお選びいただけますので、お車ごとに装備内容が異なります。本取扱説明書では、オプション機能についての記載内容に  マークを付けています。ご自分の車いすに装備されたオプション機能をご確認の上、必要な箇所をお読みください。

おもな機能と特長

- シーティング機能
背シートの張り具合を、使用者の体型に合わせて調節することができます。
- スイングアウトフットレスト 
フットレストをワンタッチで開閉可能。フットレストがじゃまになることなく、スムーズに乗り降りすることができます。
- ガススプリングで衝撃防止 
段差越えなどの際に急な動作で前輪を上げようとしても、ガススプリングのサポートにより背もたれがゆっくり倒れますので、使用者への衝撃を防止できます。

各部のなまえ

下図は標準仕様車です。車いすによっては、装備や形状が異なります。



() 内の名称はJIS規格に準じた呼称です。

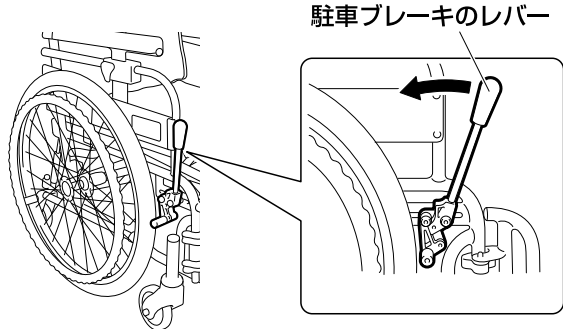
車いすの開きかた/たたみかた

⚠注意

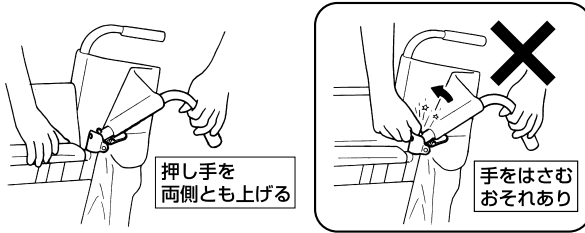
- ・シートパイプを握って押し下げないでください。手をはさんでけがをする恐れがあります。
- ・必ずブレーキをかけて操作を行ってください。

● 開きかた

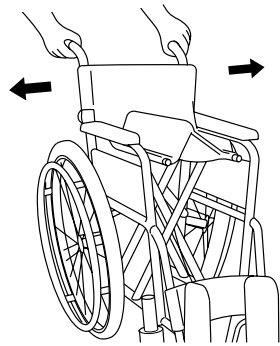
1 駐車ブレーキのレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。



2 押し手を両側とも上げます。
* 開口部に手や指を近づけないでください。

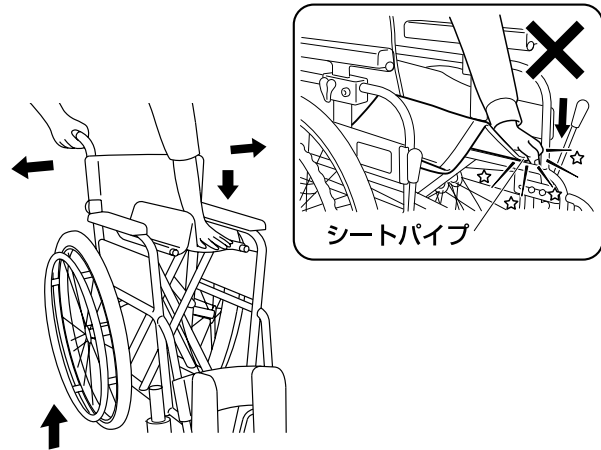


3 押し手を持って、軽く左右に開きます。



4 片側の車輪を少し浮かせて、その状態を保ちます。

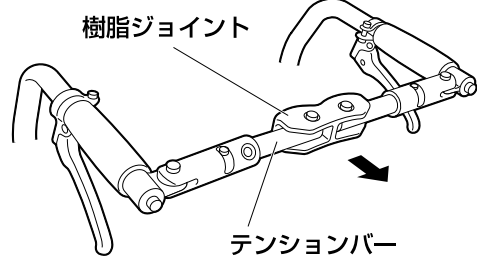
5 車輪を浮かせていない側の座シートの表面を、手の平で押して開きます。
* シートパイプを握らないでください。



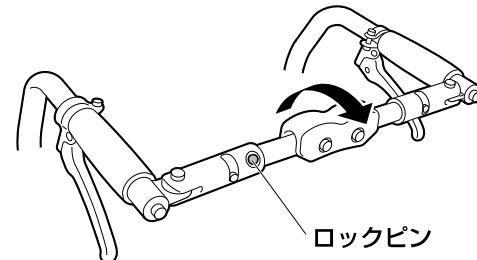
片側の車輪を浮かせる

【テンションバー装着車のみ】**オフ**

6 テンションバーの樹脂ジョイントを手前に軽く引き、テンションバーを真っ直ぐにします。
* 無理やり引っ張らないでください。テンションバー破損の原因となります。



7 樹脂ジョイントを手前に90° 回転させて、ロックピンが穴にはまりロックされたことを確認します。
* ロックピンが穴にはまっていないと、テンションバー破損の原因となります。

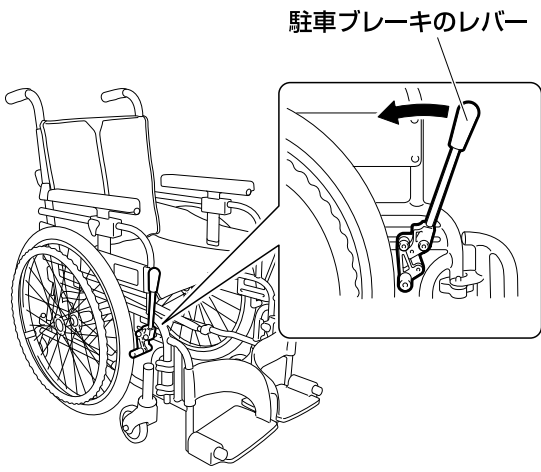


● たたみかた

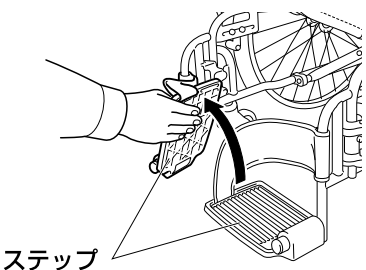
⚠注意

車いすをたたむときは、シートパイプを握らないでください。手をはさみ危険です。

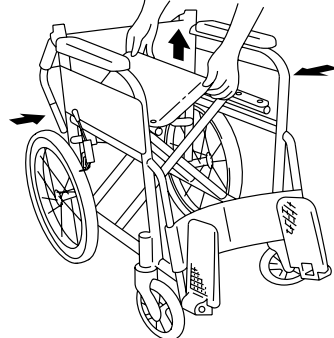
1 駐車ブレーキのレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。



4 ステップを両側とも上げます。

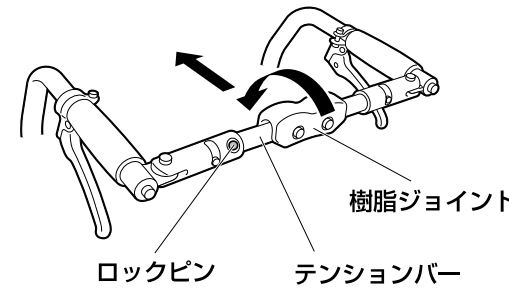


5 座シートの前後を持ち上げて、シートパイプを引き寄せます。

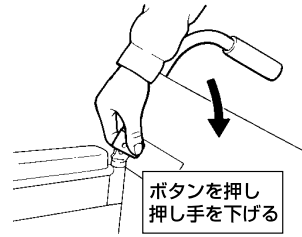


【テンションバー装着車のみ】**オン**

2 テンションバーのロックピンを押し込みながら、樹脂ジョイントを前方に90° 回転させた後、テンションバーを前方に軽く曲げておきます。
* ロックピンを押さずに回そうとしたり、手前側に回そうとしないでください。テンションバー破損の原因となります。



3 図のように、押し手を両側とも下げます。



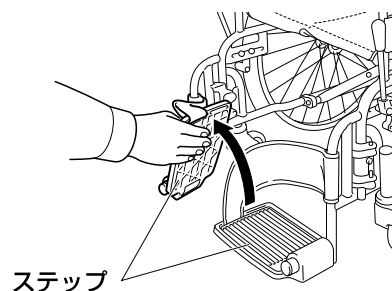
乗り降りのしかた

⚠警告

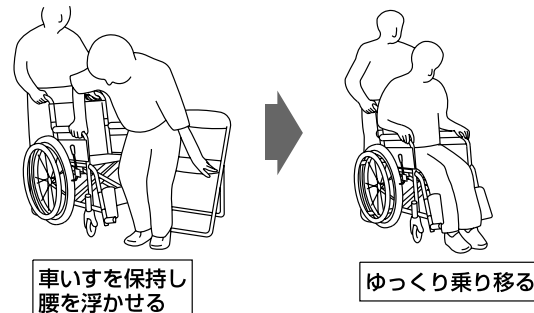
- ・乗り降り時は、必ず駐車ブレーキをかけてください。車いすが動きだし大変危険です。
- ・車いすに乗り移る際、ステップの上には乗らないでください。転倒し、けがをする恐れがあります。
- ・上げたステップに足が当たらないよう注意してください。けがをする恐れがあります。

● 乗るかた

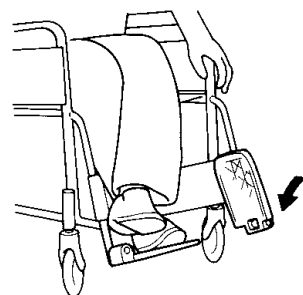
- 1 駐車ブレーキのレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 背シートとレッグレストの面ファスナーがしっかり接着されていることを確認します。
- 3 ステップを両側とも上げます。
*ステップの上には乗らないでください。転倒し、けがをするおそれがあります。
*上げたステップに足が当たらないよう注意してください。けがをするおそれがあります。



- 4 車いすをしっかりと保持しながら、ゆっくり乗り移ります。



- 5 ステップを降ろして両足を乗せます。

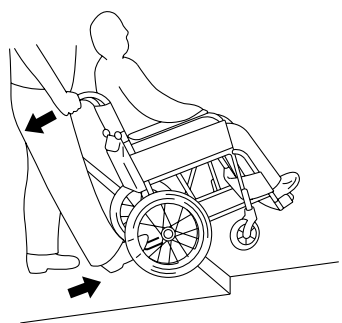


● 降りかた

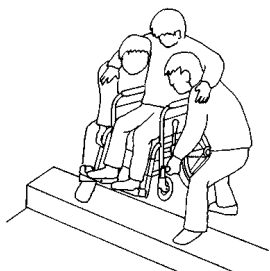
「乗るかた」と逆の要領で行なってください。

段の上がりかた

- 1 押し手を手前に引くようにして、前輪キャスターを段の上にあげます。



- 2 駆動輪を段に突き当て、車いすを押しながら押し手を持ち上げます。
*無理な力による段差の乗り越えは、フレームの破損につながります。



車いすに乗ったまま持ち上げる場合

⚠警告

持つ箇所によっては破損や事故につながる恐れがあります。アームレスト、背折れジョイント、レッグパイプ、フットレストなどは持たないでください。

車いすに乗ったまま持ち上げるときは2人以上で行ない、使用者の上半身を支え、フレーム下部を両側からしっかり持って持ち上げます。

段の下りかた

後車輪キャスターを利用して車いすを支えながら、ゆっくり段を下ります。

- *無理な力による段差の下りかたは、フレームの破損につながります。
- *段差のあるところを下るときは、車いすに衝撃を与えないように、ゆっくり下ってください。車いすの破損や故障の原因となります。

スイングアウトフットレストの開閉・取り外し

オフ
ジョン

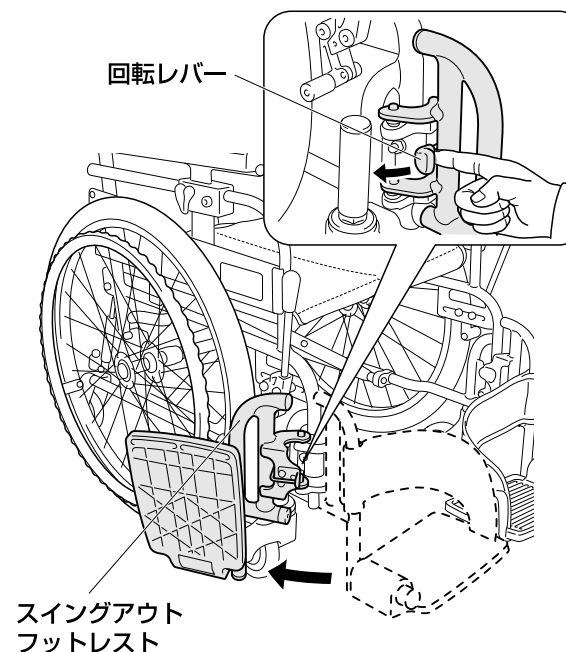
フットレストをワンタッチで開閉することができます。車いすへの乗り降りの際、フットレストが脚にぶつかることなくスムーズに移乗することができます。

⚠警告

- ・スイングアウトフットレストの開閉・取り外し・取り付けは、必ず両輪の駐車ブレーキをかけてから行なってください。
- ・スイングアウトフットレストを持って車いすを持ち上げないでください。部品が外れて使用者が転倒、落下すると、事故やけがにつながるおそれがあります。

● 開きかた

回転レバーを矢印の方向に引き、そのままスイングアウトフットレストを外側に回転させて開きます。

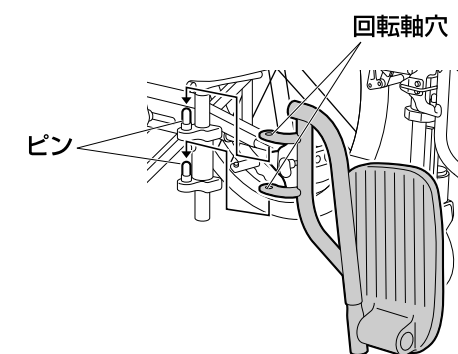


● 取り外しかた

スイングアウトフットレストを外側に開いた状態で、垂直に引き上げます。

● 取り付けかた

車体フレーム側の2つのピンにスイングアウトフットレスト側の回転軸穴（2箇所）を合わせてはめ込みます。
*スイングアウトフットレストを開いた状態で、スイングアウトフットレストに力を加えないでください。金具が変形し故障の原因となります。



● 閉じかた

スイングアウトフットレストを内側に回転させて閉じます。閉じた後、スイングアウトフットレストが完全にロックされたことを確認します。

- *スイングアウトフットレストを閉じるときに、指をはさまないように注意してください。

⚠警告 各部の調節は必ず駐車ブレーキをかけてから、平坦な場所で行なってください。

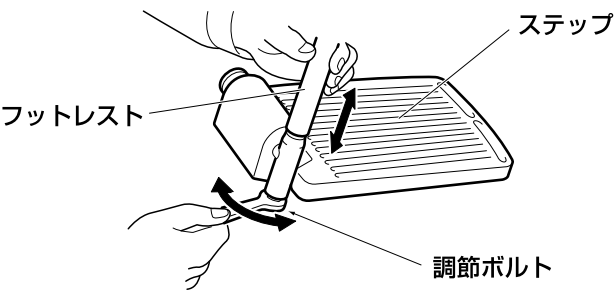
ステップの高さ調節

使用者に合わせて、ステップの高さを適切な位置に調節してください。

- 1 駐車ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 フットレストの裏側の調節ボルトをスパナなどでゆるめます。
- 3 使用者の足に合わせ、ステップの高さを調節します。
- 4 調節を終えたら、調節ボルトを締め付けて固定します。

* 反対側も同じ高さに調節してください。

* ステップが回転せず、しっかり固定されていることを確認してください。



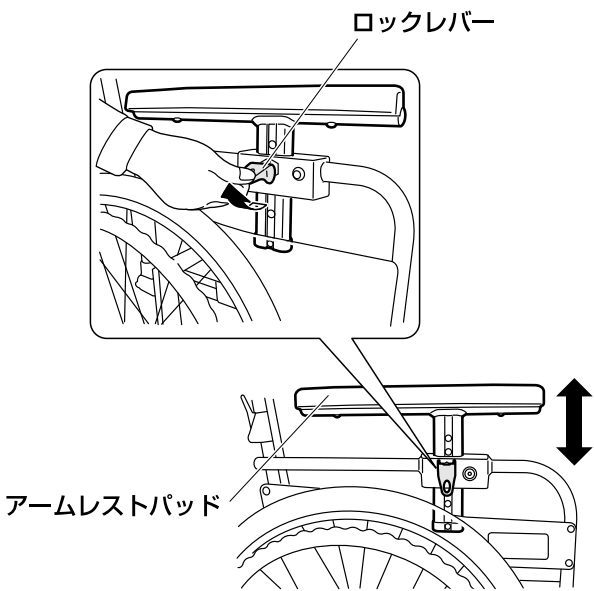
アームレストパッドの高さ調節 オプション

⚠注意 ・高さ調節をした後は、必ず固定されたことを確認してください。
・調節中にアームレストが下がり、アームレストフレームとアームレストパッドの間に指をはさまないよう注意してください。けがをするおそれがあります。
・アームレストを持って車いすを持ち上げないでください。

- 1 駐車ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 ロックレバーを引いてロックを解除します。
- 3 アームレストパッドの高さを調節し、希望の高さでロックレバーを押し下げます。
- 4 ロックレバーがいっぱいまで下がり、アームレストパッドが確実に固定されていることを確認します。

* 反対側も同じ高さに調節してください。

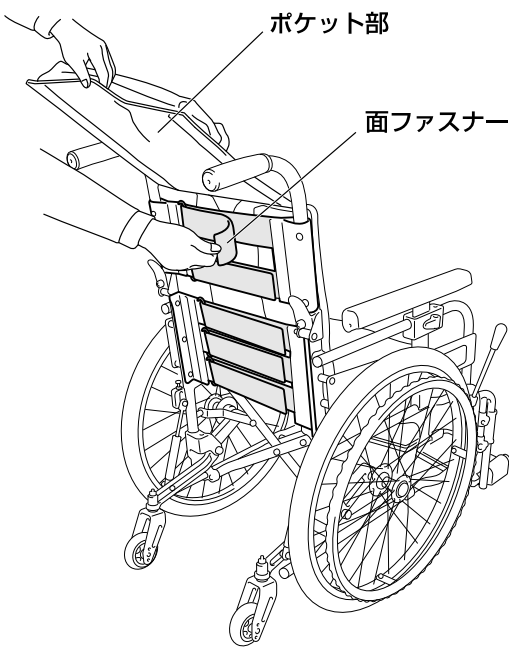
* 調節後、アームレストがしっかり固定されていることを確認してください。



背シートの張り具合調節

* 背シートの張り具合を随時チェックし、必要に応じて調節してください。

- 1 駐車ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 ポケット部をめくり上げます。
- 3 面ファスナーをはがし、背シートの張り具合を調節した後、もう一度面ファスナーをしっかりと貼り合せます。
* 手で背シートを押し、確実に固定されていて、張り具合が適切であることを確認してください。
- 4 ポケット部を元に戻します。



前輪キャスターの上がり高さ調節

段差越えなどの際に前輪キャスターを上げる高さを調節することができます。

⚠警告 前輪キャスターが上がり過ぎないように調節してください。段差越えなどの際、重心が後ろに偏りすぎると、後方へ転倒する恐れがあります。

- 1 駐車ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 ナットをゆるめます。
- 3 ボルトを回して、ボルトの外に出ている部分の長さを調節します。
* ボルトの外に出ている部分が長いほど、前輪キャスターの上がり高さが低くなります。
- 4 ナットを締めつけます。

* 反対側も同じ長さに調節してください。

